

ユニット名	<b>こすもすユニット</b>
-------	-----------------

施設長	生活相談員	作成UL	

行 動 計 画 表

区分	項目	ねらい	具体的行動計画(実践をするために何をするか)			実施結果と今後の展望
			だれが	どのように	いつまでに	
①	②24時間シートを作成している	24時間シートは最新の情報を記載し、必要な情報が全て記載されており、ケアの統一に役立てる	ユニットリーダー	24時間シートを内容の変更・追加がある時に赤字で修正・加筆を行い、担当者会議月に対象入居者の居室担当が24時間シートのエクセルデータの修正を行う事をユニット会議にて説明を行う	H31年6月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	24時間シートへの赤字での修正・加筆を必要時に行う	常時	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	赤字での修正・加筆内容を24時間シートのエクセルデータを更新し、プリントアウトを行い、個人ファイルにファイリングする	常時	
	④ユニット毎に入居者の暮らしに合わせたシフト表を作成している	介護業務と周辺業務を切り分け、ケアワーカーが入居者の生活により寄り添って勤務できる体制を作る	ユニットリーダー	ユニット内の業務洗い出しを行い、介護業務と周辺業務に切り分けをする	H31年8月	
			ユニットスタッフ			
			ユニットリーダー	洗い出した周辺業務を、入居者の生活にリンクさせて実施するスケジュールを組む それに合わせたケアワーカーの動きを設定する	H31年9月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ 生活相談員	周辺業務のスケジュール及び、ケアワーカーの動きなどをユニット会議にて伝達する 修正点等を話し合う	H31年10月	
ユニットリーダー ユニットスタッフ	指導しながら実践していく。スケジュールに不都合及び変更があれば都度修正を行っていく 発生した問題等をユニット会議で話し合い、より良いスケジュールを組む	常時				
ユニットリーダー ユニットスタッフ	実践した内容やスケジュール等をマニュアル化して、他ユニットで活用できる情報にして 発信をする	H32年3月				
③	④外出がしやすいように外出届や連絡方法に工夫がされており、外出に積極的に取り組んでいる	ICF(国際生活機能分類)の「活動」「参加」の領域の目標達成により、入居者のQOL(生活の質)の向上を目指す	ユニットリーダー	ユニット会議にて、ユニット職員に各居室担当の入居者に関してそれぞれの個性に合わせた活動・参加の設定をすることを説明する	H31年4月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	入居者の意向や家族の要望を確認し、活動・参加の内容を決定、実践する ケアプラン・24時間シートに反映させる	H31年7月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	実践した内容をモニタリングを行い、見直しをする	常時	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ			
⑤	⑤家族の面会は自由であり、連絡も密にとっている	月1回以上で家族に面会時、電話などで連絡を行い、入居者の近況や必要な物などをお知らせする事で、ホームでの生活の見える化を図る。	ユニットリーダー	ユニット会議にて、各居室担当が望まない家族以外、必ず月1回以上家族と連絡をとり、その内容を個人ファイルの専用用紙に記載する事を説明する	H31年6月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	家族に連絡についての方法、いつがいいかなどを相談し、決定する	H31年8月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	家族へ相談し決まった方法、時間にて連絡を行い、近況報告や必要な伝達を行う	常時	

行動計画表

区分	項目	ねらい	具体的行動計画(実践をするために何をやるか)			実施結果と今後の展望
			だれが	どのように	いつまでに	
④	①各ユニットの情報は整理されており、情報伝達の方法も決まっている	入居者個々の日々の中で状態やケアの一時的变化などを全スタッフがわかりやすい状況を作り、その内容及び対応等の統一を図る	ユニットリーダー ユニットスタッフ	こすもす・ひまわりの間の倉庫にホワイトボードを設置し、各入居者の欄を全員分作る	H31年4月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	設置されたホワイトボードに、ケアの内容や医療処置などの一時的情報を付箋を使って記入・貼り付けし、情報を全て載せる	H31年4月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ 看護職員	出勤時に必ずホワイトボードの確認をユニットスタッフに徹底し、何か発生した場合にはそこに貼りつけるように周知・徹底する	H31年4月	
		家族からの連絡事項や面会時の話などの情報を記入する用紙を作り、情報伝達を円滑にする	ユニットリーダー ユニットスタッフ	各入居者の個人ファイルに面会時の様子や電話等での依頼などを記入する用紙を作成する	H30年4月	未実施、面会時の様子などの記入用紙の準備を進め、年度内の稼働を進めていく
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	家族とのやり取りの後に、引継や情報伝達が必要な事項は個人ファイルの用紙に記入を行い、面会時等には確認を行って、情報の伝達を円滑にする	H30年4月	
			ユニットリーダー ユニットスタッフ	ユニット内の清掃が必要な部分の洗い出しを行い、それを介護スタッフと周辺業務をやっていただくスタッフの業務を切り分け、いつ誰がやるのか決定し表を作成する	H31年8月	
その他	ユニット内を清潔に保ち、健康的に過ごしやすい、家族は面会時に気分が良く、スタッフは働いていて気持ち良い状態を保つ	ユニットリーダー ユニットスタッフ	表に従い実施し、不都合や改善点があれば都度修正する	常時		
		ユニットリーダー ユニットスタッフ 看護職員 生活相談員 ケアマネジャー 施設長	看取りケアに関して、ユニット内にて勉強会を実施して、看取りケアの基本的知識の向上を促す 必要書類等の環境整備を行う (マニュアル・同意書・指針・意向確認書・チェックリスト) 家族・入居者と共に、人生会議を行い、意向確認書を作成する 基本的方針はチェックリストを使い、個別的要望に関しては、家族・入居者の要望をしっかりと聞きながら意向確認書を作成する	H31年5月～ H31年10月 H32年3月		
	HAL(装着型移乗支援機器)使用し、スタッフの身体的向上を目指すと共に、より良い活用方法を模索する	ユニットリーダー ユニットスタッフ 生活相談員 施設長	HAL(装着型移乗支援機器)を使用し介護にあたる。その際に改善点や必要な補助器具など生活相談員と相談の元、改善や補助機器の購入を検討する また、介護業務以外の使用方法を模索する	H32年3月		
	認知症の改善に資するケアを用い、入居者のQOL(生活の質)の向上及びスタッフの意欲アップにつなげる	ユニットリーダー ユニットスタッフ	認知症の改善に資するケアに関して、ユニット会議にて実践的説明を含めて勉強会を行う	H31年5月より毎月		
		ユニットリーダー ユニットスタッフ	業務内で認知症の改善に資するケアを各スタッフが実践する	常時		
		ユニットリーダー ユニットスタッフ 生活相談員	ユニット会議にて、取り入れた結果を話し合い、効果やより良い方法などを検証しケアの向上を図る	常時		
	ひまわりユニットと共同で懇親会を行い、スタッフ間のコミュニケーションの向上とスタッフのストレスケアを行う	ユニットリーダー ユニットスタッフ	懇親会の実施に関して、スタッフ間で意見交換し、何をいつどこでするかを決定する。 (法人及びソウェルクラブの助成を活用できるプランを策定、申請を行う)	H31年4月		
		ユニットリーダー ユニットスタッフ フロアリーダー	懇親会を実施する。	H31年4月		